



第2回「釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました！

「第2回釧路湿原川レンジャー学習会」を令和元年8月1日に開催し、20名が参加しました。

今回は、しべちゃ水辺の楽校において釧路川の「水質・水生生物調査」と「しべちゃ水辺の楽校祭」に参加しました。

■ 北海道開発局による「水質・水生生物調査」について

北海道開発局では、毎年、北海道の主な河川で地域住民の方々と一緒に川の水質調査を実施しており、平成17年から釧路湿原川レンジャーも学習会として参加し今年で14回目になります。この調査は、川の水質を参加者が直接確認することにより、川に対する関心を高めることを目的としています。

今年も、標茶町内5校の小学生1～6年生の26名と標茶高等学校の生徒3名が参加し、一緒に調査を行いました。



位置図

■ 6班に分かれて標茶町を流れる釧路川を調査

調査は小学生、高校生、川レンジャーの混合した6班に分かれ、以下の内容で行いました。

- ①「川の状態を調べよう」(川底の感触、水温、流速、透視度など)
- ②「川の水質を調べよう」(pH、溶存酸素量、アンモニウム態窒素など)
- ③「川の生物を調べよう」(川にすむ生物をつかまえて観察し、川のきれいさを判定するなど)

1. 川の状態を調べよう



水温は何度かな



透視度測定

2. 川の水質を調べよう



水質試験の説明



溶存酸素量(DO)の測定

3. 川の生き物を調べよう



生き物を調査



生き物の観察

4. 調べた結果

各班の調査結果を表-1,表-2にまとめました。『人と河川の豊かなふれあいの確保』に該当する項目全てAランク。『豊かな生態系の確保』は、「簡易水質調査」、「川の水生物調査」の項目も全てがAランクとなり、標茶町に流れる釧路川の環境が非常に良好である結果となりました。

これからも、きれいな釧路川の環境を守ってまいります。

表-1 人と河川の豊かなふれあいの確保(遊びやすさ)の調査結果

ランク	説明	ゴミの量	透視度 (cm)	川底の感触	水におい	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)
A	顔を川の水につけやすい	川の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ごみはあるが全く気にならない	100以上	快適である(素足で入りたいと感じる)	不快でない	100以下
B	川の中に入って遊びやすい	川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	不快感がない(履物があれば入りたいと感じる)		1000以下
C	川に近づきやすい	川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	不快である(履物をはいても入りたくない)	水に鼻を近づけると、不快な臭いを感じる	1000を超えるもの
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい	川の中や水際にゴミがあってとても不快である	30未満		水に鼻を近づけると、とても不快な臭いを感じる	

表-2 豊かな生態系の確保(生き物の住みやすさ)の調査結果

ランク	説明	溶存酸素量 DO(mg/L)	アンモニウム態窒素 NH ₄ -N(mg/L)	水生生物の生息
A	生物の生息・成育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下	I. きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ 等
B	生物の生息・成育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下	II. 少しきかない水 ・コガタマトビケラ ・オシマトビケラ 等
C	生物の生息・成育・繁殖環境として良好とはいえない	3以上	20以下	III. きかない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ 等
D	生物の生息・成育・繁殖しにくい	3未満	20を超えるもの	IV. 大変きかない水 ・セスジスリカ ・チョウバエ 等

☆当日採取した糞便性大腸菌群数は、分析した結果 100個/100mLでした。

「しべちゃ水辺の楽校祭」に参加しました

河川を調査した後、「しべちゃ水辺の楽校祭」に参加しました。

この日は気温33度という猛暑の中、川レンジャーのみなさんは元気に参加しました。

七夕の短冊に熱い願いを書き、標茶牛乳で乾杯をしながら記念撮影をしました。



標茶牛乳を手にみんなで記念撮影



昼食は別保公園にて地元食材「海藻ポーク」を食しました

★★ 参加されたみなさま、暑い中大変お疲れさまでした。★★

観察活動の報告

川レンジャーより観察活動の報告がありました。

今後も釧路湿原川レンジャーNewsに紹介していきます。

みなさまからの活動報告をお待ちしております。

報告日	報告内容
令和1年7月5日	ゴミの不法投棄、動植物その他
令和1年7月6日	動植物